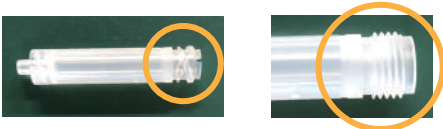


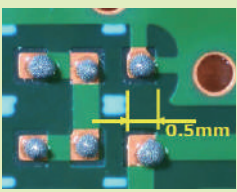

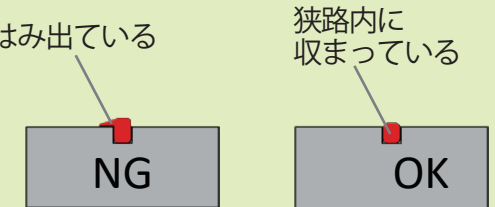


Tofutty カスタム事例① (塗布性能)

<p>ご要望</p>	<p>Tofutty 適用粘度 (20,000mPa・s) 以上の液剤を塗布したい。</p>	<p>吐出速度を速くしたい。 生産のサイクルタイムに合わせて、吐出速度を速くしたい。</p>	<p>液剤が狭路へはみ出さないように流し込めるよう吐出速度を遅くしたい。</p>
<p>解決方法</p>	<p>高粘度液剤に対応した特殊シリンジに変更対応した。</p> 	<p>直動機構を変更対応した。</p> 	<p>ソフトウェアにて変更した。</p> 
<p>解決事例</p>	<p>★基板に半田ペーストの定量塗布を可能にした。</p>  <p>5 μL 相当 85,000mPa・s</p> <p>【評価実績】 吐出は 220,000mPa・s まで対応可能</p>	<p>★回転物 (ギア) の周速に合わせて一定量塗布を可能にした。</p>  <p>【対応実績】 122 μL/s まで対応可能</p>	<p>★狭路へのアプローチを容易にした。</p>  <p>手動でもハンドリング性が上がり、一定量の線塗布が可能になります。 【対応実績】 1 μL/s</p>

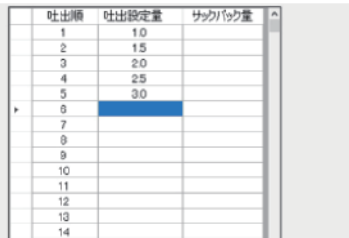
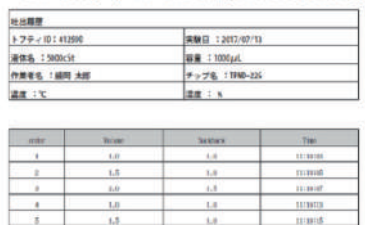

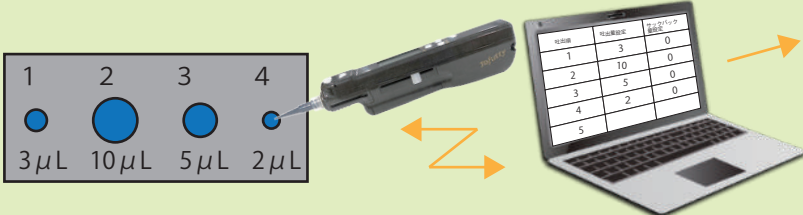
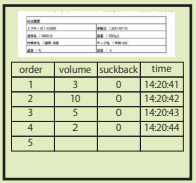
Tofutty カスタム事例② (作業効率化)

<p>ご要望</p>	<p>生産ラインで連続使用できるように外部電源供給に変更したい。</p>	<p>生産工程で両手で持ったワークに決められた箇所に定量塗布したい。</p>	
<p>解決方法</p>	<p>ACアダプタをTofuttyに搭載対応した。</p> 	<p>フットスイッチを搭載した。</p> 	
<p>解決事例</p>	<p>★バッテリーレスでTofuttyの動作が可能。</p>  <p>バルancerにTofuttyをつるして使用可能</p>	<p>★生産工程で、足で吐出ボタンの操作を可能にした。</p>  <p>Tofuttyを固定し、両手でワークを持ちながら塗布作業可能</p>	

Tofutty カスタム事例③(自動化)

<p>ご要望</p>	<p>生産工程で定量塗布作業を連続使用できるように生産用治具に搭載し、吐出・吸引ボタンを外部制御したい。</p>	<p>直交ロボットに搭載して、異なる量の吐出操作を自動化したい。</p>
<p>解決方法</p>	<p>電気信号線を引き出し対応した。</p> 	<p>コマンドで操作可能なソフトウェアに変更した。</p> 
<p>解決事例</p>	<p>★自動機への搭載が可能。 ★Tofutty を生産用治具に搭載し、塗布作業が可能。</p>  <p>省スペースで塗布作業可能。</p> <p>※吐出量、速度設定当は Tofutty 本体のボタン操作が必要です。</p>	<p>★自動機に Tofutty 搭載して操作が可能。</p>  <p>※Tofutty 本体の S/W オペレーション出来ません。</p>

Tofutty カスタム事例④(その他)

<p>ご要望</p>	<p>セル生産で、決まった手順に応じて塗布量を変更しながら塗布する際、自動で設定値を変更したい。</p>	<p>工程の品質保証のため、吐出のログを残したい。</p>	<p>生産工程でシリンジ充填後の定量塗布作業の回数をふやすため、シリンジ容量を大きくしたい。</p>
<p>解決方法</p>	<p>TofuttyPro をご提案</p> 	<p>TofuttyPro をご提案</p> 	<p>Tofutty 大容量タイプをご提案</p> 
<p>解決事例</p>	<p>★専用アプリで吐出パターン登録により、Bluetooth で設定変更を行うことが可能になった。</p> <p>例)</p> 	<p>★専用アプリで塗布時間と塗布量の作業ログを残すことが可能になった。</p> 	<p>★5 ml ~ 12 ml シリンジの搭載が可能になった。</p> 